

## 会 議 概 要 書

審議会等の名称	第5回 磐田市環境市民会議
担当部課名	環境水道部 環境課
会議の開催日時	令和2年10月9日（金）午前10時～午前11時40分
会議の開催場所	ワークピア磐田 2階 視聴覚室
出席者 (職・氏名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員14名 (出席者11名) 佐藤和美、清水秀之、須藤 毅、菊島昭崇、鈴木正士 青木敬子、遠藤 正、鈴木弥栄子、田中卓也、山下千賀子、 石黒信子（敬称略） (欠席者3名) 杉浦 聖、松村啓子、今泉佳代(敬称略)</li> <li>・ (事務局4名) 環境課長、環境保全グループ長、環境保全グループ 副主任2名</li> </ul>
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2次磐田市環境基本計画の進捗状況について</li> <li>・ これからの磐田の環境について（意見や感想）</li> </ul>
配 付 資 料 等 の 件 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2次環境基本計画の進捗状況（資料①）</li> </ul>
概 要	<p>(1) 開会（事務局）</p> <p>(2) 会長あいさつ</p> <p>(3) 議事（議長：会長）</p> <p>①第2次磐田市環境基本計画の進捗状況について（資料①）</p> <p style="padding-left: 2em;">事務局から第2次磐田市環境基本計画の進捗状況について説明</p> <p>《質疑・応答及び意見》</p> <p>【委 員】指標のパーセンテージとは、何の何に対する割合ですか。</p> <p>【事務局】基本方針1の①水質に係る環境基準達成率では、静岡県が実施する河川の水質調査の地点のうち、BODの数値が環境基準を達成した地点がどれくらいの割合かという指標です。基本方針2の①市</p>

民一人当たりの都市公園等面積は市内の都市公園の面積を磐田市の人口で割ったものです。

【委員】基本方針6の環境教育の推進に係る指標のパーセンテージは内容の充実度に係る割合ですか。

【事務局】環境教育の内容の充実度ではなく、市内の小学校22校のうち、実施した小学校が占める割合です。小学校の環境教育は、社会や理科など授業の中で環境に関わることを学んだということであり、学校によって環境教育であるかどうかの判断が違うので、1回でも行ったという報告をもらえば、その学校は実施したことにしています。

【委員】それでは学校が環境教育を推進しているとは言えない。内実が明らかになっていないのではないのか。環境教育ができていないのならなぜできないのか理由を知り、できるよう努力していくことが大事ではないかと思います。

【委員】結局、この指標はものすごく充実した環境教育をしている学校でも1、そうでもない学校でも1、という評価です。それではよくないと考えます。環境教育は重要であり、ごみの問題や食品ロスの問題などは子どもが小さいうちから教えていくべきです。

【事務局】どの程度であればやっているといえるのか、を数値で測ることが困難であるため、このような指標となっております。今後、学校や幼稚園保育園に対してヒアリングをするなど、もう少し踏み込んで、分かりやすい表現の仕方にしたいと考えます。

【会長】基本方針の目的には、子どもたちの環境について考察し判断する力を育て、自然を大切にすることを育む、環境保全について理解を深めるとあります。これをどれだけ達成しているかが分かる指標で測っていくことが大事です。課題として受け止めさせていただきます。

【委員】学校給食の残菜量が増えたことに対する市の取組みについて分かるとよいです。

【会長】学校給食の残菜量が増えてしまったことに対して、当事者の方た

ちはこの指標があること、残菜量を減らしていかななくてはいけないのだということをしっかり認識していただいて、その上で結果を分析することが大事です。ここに至った経緯をきちんと分析していただきたいと思います。

【委員】環境教育は子どもだけでなく全ての人に行う必要があると思います。子どもだけに負荷をかけていても仕方ないと思います。100%の海洋ゴミのうち1%しか所在がわかっていないという研究結果もあります。マイクロプラスチックはミジンコのおなかの中にもあり、水揚げされた魚の中にも間違いなく入っている。今、私が環境教育に携わるとき、子どもたちの前で「明日の環境のためにがんばろう」という言葉を告げるのがつらく感じます。人間が生きていく全てが環境に影響し、影響されています。単に「環境問題」や「環境教育」でものを考えてしまうと、視野が狭くなります。

【委員】新しく作っている今之浦公園に人工芝を敷くという話を聞きました。人工芝はマイクロプラスチックの原因となることがわかっています。ここで環境問題について頑張っているのに隣でそういうことをするのはなぜなのか、とても残念です。

【委員】その工事では今之浦公園の茂った樹木を根こそぎ伐採してしまっています。あれだけ育った木は財産ともいえるのに、緑を大事にしないで緑化事業を行っている傍らでそんなことをするのはおかしいと思います。一部を伐採するなどして活かすことはできなかったのでしょうか。

【委員】近隣住民から「鬱蒼として危険だ」という意見があったためということでした。鬱蒼としているなら手入れをすればよいと思うのですが。

【委員】公園の樹木も見通しが悪く危険だというなら、間伐すればいいのです。森があると周辺の空気がきれいになり、その恩恵が受けられることをもっと市が主張してもよいと思います。

この場には産業大学の先生もいらっしゃいますので、磐田市の自然

にどれだけの価値があるのか、どうしたら価値が下がるのかまた、上がるのか、学生さんと一緒に考えていけたらよいと思います。それを受けて、磐田市は環境に関してどう取り組むのか、全ての課で考えてほしいです。

【会 長】限られた市の場所を、いかに色々な人の目的に適うように作り上げていくか、全体を見渡したまちづくりの計画があるのではないのでしょうか。しかしながら、樹木はすぐに育つものではなく、何代にもわたって育て上げたものだという認識は必要ですね。

【委 員】ごみのことですが、大人が手本を示せば子どもも覚えていくと思います。昔に比べたら今は分別を頑張っていると思います。市民一人当たりのごみ排出量が出ていますが、行政の考え方ひとつで改善できると思います。生ゴミは水分が多いので重くなりますから、生ごみを別に分別して肥料会社と提携して肥料にすればよいのではないかと考えます。

【会 長】ご意見ありがとうございます。私は藤枝市に住んでおりますが、実は藤枝では生ごみは別回収になっております。（※藤枝市では生ごみは委託業者によりたい肥化されている）

## ②これからの磐田の環境について

《2年の任期を終えての感想やこれからの磐田の環境についての想い》

【委 員】私が環境施策の指標の中で重要と感じているものは、基本方針2の市内の耕作放棄地の対策です。知人の話では、周辺で放棄地が増えており雑草や不法投棄で困っています。コロナの影響で失業者も増えていきますし、若者が農業を魅力的な仕事だと感じられるような施策を行ってほしいです。

次に、基本方針4のごみの排出量です。以前この会議で意見が出ましたが、一人当たりの量ではなく、1kg当たりの処理費用がこれだけかかるのだということを広報したり、ごみの収集カレンダーに掲載したりすればごみの削減につながるのではないかと思

います。二年間、委員として参加する中で野生鳥獣の被害や山林の問題などを知り、普段の生活でも意識するようになりました。同様に、市民の皆さんにいかに広く知っていただくかが重要であると思いました。私は事業所として地下水協議会の間伐作業や植樹、大池のクリーン作戦などに参加させていただいていますが、どうしても参加する人が偏ってしまいます。色々な方に参加していただいて、環境問題を考えるきっかけにしていきたいと思いました。

**【委員】** 今日、説明していただいた基本方針のうち、「3 自然・歴史文化と触れ合う機会をつくります」や「4 環境にやさしい消費行動を推進します」は、今の新型コロナウイルス感染症による社会情勢を考えると指針の考え方の検討が必要となると感じています。3では、一か所に人が集まるのが困難になっていますので「自然と触れ合う」という方針はそのままでも方法や方向性を見直すことが必要となると思います。また、4では、先ほど生ごみの話がありましたが、コロナ渦では消費行動も変わっていくことが予想できます。外食が良いとか悪いとかではなく、それぞれの考え方の中で生活のごみに対する考えも変わっていきます。自然環境も含め、環境に関する問題は人の心と体の健康に直結することだと思います。環境の問題は町健康であり、市としての健康経営の在り方が市民会議の一つのテーマとなっていくと思います。市内で事業を営むものとして、今後ともこういった活動を続けていただきたいと思えます。

**【委員】** 初めて参加させていただいた感想ですが。私は4年前に磐田に来ました。その前は東京、神戸、大阪でした。新しい地域に来て一番大変なのはごみの分別です。東京や大阪に比較すると磐田はとてもしっかりしています。最初は戸惑いましたが、今や当たり前になっています。これはすごく重要だと思います。習慣化した結果、分別に対する考え方も変わる。同様に、置かれた環境や体験が皆さんの環境意識や発言に表れているかなと思えました。

【委員】私は、豊岡地区の山の中に住んでいますので、山の大切さをもう少し市民の皆さんに認識していただけるといいなと思います。というのも、台風が来ると山では木が倒れます。費用がかかるので、倒れた木を切ったり、修復したりすることができません。そうして荒れてしまった山に大雨が降ると水害が起こり易くなります。この前、会議の場で山のことをお話しさせていただき、皆さんにPRできたのが良かったと思います。私はこの会議に参加するまで、環境基本計画があること自体を知らなかったもので、勉強になりました。

【委員】木が倒れるのは、山に保水力がなくなっているからです。針葉樹や広葉樹が混じっているとよいらしいです。針葉樹は落葉しないので日が差さず、下草が生えなくなって土が死んでしまう。日本の山は航空写真などで見ると森林に見えるけれど、ほとんどが死にたいになっているとのこと。自然の昔の山なら健康であったのに今は保水力がなくなったために災害が起こっているらしいです。その辺りを行政主導で、山をみんなで守るという教育を進めてほしいです。また、市が開発するときには木を切らないようにしてほしいです。

【委員】環境基本計画の進捗状況をお聞きして思ったことですが、環境の基本となるのは基本方針1の大気水質です。環境基準達成率100%というのは素晴らしい結果です。かつて、河川や海の水質が悪化した時期があり、そこから考えれば劇的に改善されています。工場からの排煙はほとんどありませんし、白く見えるのはほとんどが水蒸気です。PM2.5は原因不明で発生源がよく分かっていません。県内でいくつか発生しないところがあります。原因究明のヒントになるかと考えております。光化学オキシダントは県内ではすべての測定局で環境基準を達成できず、達成率は0%です。磐田市の一人当たりのごみ排出量が726gとのことですが、これは全国的にもかなり少ないほうになります。静岡県も少ないほうですが、その中で市の規模に比較して少ないほうになりま

す。ただ、最近三年間は増加しているようです。実際に何が増加しているのか、原因を確認して今後の施策に生かしていただきたいと考えます。

環境作文コンクールを開催しています。作文のテーマとして一番多いのがごみに関する事、二番目に多いのが温暖化問題、その次が水についてです。日本全体でみると、一番大きな環境問題が温暖化です。二酸化炭素の排出量は世界全体で年間 500 億トン、日本では 12 億トン、静岡県では 3 千万トン。ですから、静岡県で一切出さなくても止まりませんが、それでも一人一人が意識していかななくては行けません。また、始まっている温暖化に対して、適応をしていかななくては行かなくなっています。温暖化防止の対策ももちろん、対応策についても、環境基本計画の中に今後盛り込んでいただけるとよいと思います。

【委員】私は主婦の観点から何ができるかと考え、市内の母親対象に省エネやごみ削減の取り組みとして布に蜜蝋を浸み込ませたラップを作る講座等を開きました。また、海洋プラスチックの問題について考える講座をリモートでやりました。ちょうど、家庭で子どもさんがいる環境で行ったので、それを見た子どもたちが考えて気づいてくれます。そういうことが広がっていくといいなと思います。幼稚園などで行う環境教育でも、こういったちょっとした映像などを取り入れていただけるといいなと思います。大人にも、子どもにもそういう場があるといいなと思います。

【委員】私はこの会議で授業を受けている感じでした。学生のつもりで、色々な方のご意見をいただき、これを学生にフィードバックさせていただきとても有意義でした。磐田にきて 3 年目ですが、生活させていただいているからには、周囲の人に磐田はこういう環境だと自慢したいので、いろいろと言わせていただきました。学生とサツマイモ掘りをやったのですが、掘り方を知らない学生が多く、焼いた経験ありませんでした。土を触った経験もない。ほんとに経験が少ない学生が多く驚きました。けれど、この学生が

親になった時にこの経験を子供に伝えてもらえたらと思っています。

**【委員】**今之浦の人工芝のことを初めて聴きました。この会議で人工芝反対ですという声明を出してほしいです。今からでも止められたら止めたいです。これだけ、マイクロプラスチックが問題になっているのに、この会議で反対ですと声を上げたいと思いました。豊岡村の東小学校が廃校になりました。跡地をどうしようかと、地元の意見として提案したのですが採用はされませんでした。私は色々な方を対象にした植林などの継続した取り組みができる、山の現状を知るキャンプ場が良いなと思います。現状を若い人に知ってほしい。体験を通して、山を守ってほしいと思います。また森林を管理するロボットを作ってほしいとも思います。生ごみについてもたい肥化するなどの活用をお願いしたいです。

**【委員】**3年前、この会議に参加したころ一番気になっていたのが、耕作放棄地や山林が太陽光発電に代わっていくことでした。これが、悩ましい状況です。また、福田の海岸にある松林が枯れてしまっている。松くい虫の被害木を伐採するにもなかなかすぐにできないという状況でした。現在、私は「はいばらふるさとの森」で環境学習指導員をしています。このコロナ渦で小学生の環境学習も様子が変わり、これまでお弁当を食べて一日いる予定の子どもたちが、お弁当なしで半日だけ、たった1時間で帰ってしまう。森の中でお弁当を食べるなら、いくらでも離れられるのに、残念だなと思います。皆様にも森に一度遊びに来ていただけると嬉しいです。ここで他にもたくさんの環境に関する活動をする団体さんがあることを知り、つながっていけたらよいなと考えています。この会議の場では3年間、心の中にある環境への想いを吐き出させていただきました。100年後の地球に自分は生きていませんが、少しでもお役に立てたらと思い今後も活動していきます。

**【会長】**この会議では皆様から様々な意見を聴かせていただきました。先ほどあったように、ここは授業である、私もそういう気持ちで学



ばせていただきました。ありがとうございました。この会議は環境の視点で、市民が安全で安心して快適な生活を送るための提言を行うという場です。今回、会議で様々なことを提言していただき、市ではこれらを参考にさせていただけるということでよいですね。環境の問題には様々な視点があります。人はそれぞれの経験でしかものを考えられませんので、こういった場で色々な人の考えを聴くことが大事になるわけです。まずは自然の恩恵を認識すること、その上で自分たちの生活をどう快適にしていけばよいのか施策を考えていく。それを、真摯に行っていけば間違った方向にはいかないと思います。私たち一人一人の力は小さいので、時には虚しさも感じますが、少しずつでも力を尽くしていけば私たちの身近なところは改善できるのではないかと。それがまた、世界に波及すればより良い環境に変わっていくのではないかと思います。

3年間本当にありがとうございました。

(4) その他（事務局より連絡）

(5) 閉会（事務局）